

まちづくり懇談会内容

日 時：令和 5 年 11 月 3 日（金・祝）18：00～19：29

場 所：南学田公民館

出席者：7 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認及び進め方の説明

3. 懇談

（１） これからのまちづくりについて（資料①）

（２） 自由懇談

教育長説明

4. その他

○ごみ分別内容の変更（資料②）

5. 閉会 町長挨拶

懇談会終了

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：栗山高校の町外から通われている人のために寮を建設するということだが、私の知り合いがいる礼文島は民間の方にアパートを作ってもらって離島留学を受け入れしている。町がすべて実施するのではなく、民間の協力を得ることも考えていいと思います。

町長：今ある寮を活かしていくことで考えています。来年は民間の下宿を活用していきます。再来年に向けて、議論していく中で同じ場所にいる方が一体感が生まれるということで、今の寮を増築するイメージでいます。民間の活用などのいろいろな方法があると思っていますので、これから検討していきたいと思います。今ある寮の敷地内に 16 部屋ほど増築する予定でいますが、1 億円位はかかります。国の補助や企業版ふるさと納税を活用して町費の持ち出しができるだけないように進めようとしています。道外出張の際には、企

業版ふるさと納税のパンフレットを持って企業さんをお願いをしています。直接的ではないが、3,000万円近くは高校関連でいただいていますので、寄附金を活用しながら進めて行きたい。その先の事です、寮の築年数が経っていますので、新築にするのか、ご意見があった民間と協議を進めて建てていただくのかを検討していきたいと思います。

町民：除雪の関係ですが、この地区は風が強く吹き溜まりがあります。ぱっと見では積もってなくても、数メートル先では吹き溜まりがあることが多い。郵便局の方が迂回して来るとも頻繁にあって、一番心配なのが、救急車などが出動するときです。自分たちも分かればトラクターで対応できるが、郵便局の方から情報をもらうなどして、まめに見ていただきたい。

町長：町のパトロールなどが追い付かないことがある。各地域の吹き溜まりが起きる箇所のデータを地域の方々と協力いただきながら、蓄積していった除雪の作業を進めて行きたいと思います。

町民：富士団地に工事用のシートがかけっぱなしになっていて、陽は入らないし、工事も少しずつしか進んでいないと聞いている。コストの上昇などの関係もあると思うが、なんとか早急に行っていただきたい。

町長：現場を確認して担当に伝えて対応したい。また、入居者の方にも伝えておく必要があると思いましたので、対応していきます。

町民：今年この地区で数件おかしな事件がありました。7月24日町道の舗装してあるところにフンが落ちていた。担当の方には伝えて、動物のフンではなく人糞の可能性があったことでした。今の時代、人糞が道路にまかれるなど考えられないので何があったのだろうと思いました。新聞やテレビなどで熊の出没の話題がありますが、9月末に栗山町で出た時は14時頃にJAの通知がありました。内容を見ると朝方に継立で出没していると書かれていた。その後17時頃にパトカーが南学田で熊が出ましたとアナウンスされていました。継立で出没していたのであればその周辺の地区には、お昼ごろに町の広報車などでアナウンスするべきだと思った。携帯への一斉送信機能などを使い、出没した近隣の地域に連絡する対応をした方がいいと思います。JAコネクトのみでは、農家ではない方はアナウンスされないため、危険があれば早めに連絡をしてほしいです。町営バスの待合所があるが、一斉清掃の時にガスボンベを発見した。1本は空でもう1本は入っていた。建設課に電話して対応していただいたが、子どもたちが触ってなにかあったら、危険なので、停留所に不審物がないかの確認を定期的に行ってほしい。

町長：人糞やガスボンベの関係は町の方でパトロールなどの対応をしていきたいと思います。熊の関係は、目撃情報があればすぐに産業振興課に連絡が入り、すぐに熊対策チームが立ち上がります。ご指摘があった点で、どこまで周知を行うべきかなどの難しさはあり

ますが、出沒周辺の地区には早めの連絡が必要だと思います。現在どのような体制で行っているのかを確認したうえで対応をしていきたいと思っています。近年、熊の出沒が多いのは、生息区域が人里の近くまで来ていることです。北海道では、捕獲の目標を立てて実施していき、できるだけ熊の被害を防いでいくことになっています。自治体がいかに連携を取れるかが大切なのですが、全道的にハンターが減少している現状で、今後は育成に力を入れていかないといけないところです。栗山で出た際には対策マニュアルなどを活用し、人命を守るために対応していきます。

町民：町の職員に狩猟免許を取ってほしいと思います。私たちの所に取得してほしいとのFAXが来るが、取得しても実際にどう行動するかが分からない。

町長：現在2～3人は取得しています。銃などを買う際の補助がありますが、基準が煩雑で、撃てる場所の条件などが色々あると聞いていて、改善や見直しが必要だと思っています。

町民：生ごみ・炭にできるごみは全部一緒にいれていいのか。

環境政策課主幹：生ごみ・炭にできないごみ・炭にできるごみは、全て1つの袋に入れていただいて排出が可能になります。

町民：旧継立中学校に会社が入ったと思うが、利用状況などは把握しているのか。出入口は小学校側からではなく、スタンド側からになるのか。

副町長：株式会社TCAという会社が町から借り受けて、キャンプ場施設を運営しております。オープン当初は町内含めて利用がありましたが、現在の利用状況は確認できていません。

町長：出入口の関係は、いろいろ検討しましたが、小学生の通学路の関係でスタンド側からになっています。旧継立中学校は平成26年に廃校後9年ぶりの活用となり、南部地域の賑わいや観光の拠点になればと思っています。